

姉妹都市盟約締結40周年記念式典に参加して



教育委員 吉田 一徳

11月3日に鹿児島県日置市で挙行された、姉妹都市盟約締結40周年式典に出席してきました。

2日の朝7時半に弟子屈を出発し、鹿児島空港に到着したのは午後4時前でしたが、久しぶりの鹿児島は気温27℃で暑い暑い。宿泊先の鹿児島市内は、この日から「おはら祭」という南九州最大の祭りが開催されていて、ホテル前の通りは祭りの熱気と露店の焼き串のいい匂いに包まれていました。

3日の午前中は、県立歴史・美術館センター黎明館と県立博物館に立ち寄り、鹿児島県の歴史や文化等を知ることができました。これらの建物と図書館や美術館、有名な西郷隆盛像が横並びに建設されていて、とても良い町作りをされています。

午後から日置市に向かい、記念式典に出席しましたが、その模様はYouTubeの弟子屈町公式チャンネルで見えていただけるとよく分かると思います。

その後に懇親会も行われ、9月に弟子屈に来町した「ひおきPR 武将隊」の甲冑を試着させていただきました！これを着れば、戦国武将の島津4兄弟に早変わり！

4日は午前中に農家視察をしたのち、昼食を取るために江口蓬菜館（物産館）に立ち寄って地元の農産物や鮮魚を眺めていると、タイやタチウオのそばにコバンザメが並んでいました。調べてみると刺身や焼き物、煮つけにと色々調理できるようで、食文化の違いに驚かされました。午後からは農家視察と研修会、夕方からはオリブ畑の見学とハードな1日でした。

今回の式典出席を通じて、日置市の文化や歴史を肌で感じる事ができ、改めて故 永山在兼氏の功績を実感させられる訪問となりました。



No. 37

2023/12

発行／弟子屈町教育委員会
 教育長 岩原 勝行
 教育長職務代理者 金井 秀明
 委員 菅原 誓之
 委員 吉田 一徳
 委員 宮田 昇子

歌や器楽、劇を発表…こども園

教育長 岩原 勝行

認定こども園ましゅうの令和5年度発表会が、11月11日に摩周観光文化センターで開催されました。

0歳から年長までの全園児が参加し、元気いっばいに演技を披露していました。

年齢に応じて、歌や踊り、劇、器楽など盛りだくさんの内容を、笑顔満開、ステージいっばいに発表していました。来年、小学生になる5歳児が「将来の夢」を1人ずつ発表すると、観覧に訪れた父母や祖父母からも大きな拍手が送られていました。

最後は「ともだちになるために」を5歳児全員で歌い、発表会を締めくくりました。



図書館蔵書点検

教育長職務代理者 金井 秀明



毎年11月は図書館の蔵書点検月となり、今年度も1日から10日まで蔵書点検が行われました。図書館にはおよそ6万冊の本があります。コミック誌から学術書、郷土資料館には更科源蔵氏の貴重な関係書が保管されています。それら全てを1冊ずつバーコードリーダーで読み込んでいきます。これがなかなか大変な作業で、本棚の一番上では肩と首が痛くなり、下段は腰にきます。高価な本や写真集などはハードカバーに入っていて、中の本を抜き出さないとバーコードが読めません。戻すのも一苦労です。図書館バスにも1,831冊（貸出中の本を除く）が載っています。点検は大変ですが、色々な本と出会える楽しみもあります。そして蔵書点検の終わった図書館で、多くの町民の皆様の来訪を、色々な種類の本がお待ちしています。

美留和小学校での移動教育委員会

教育委員 菅原 誓之

10月25日に、今年度2回目となる移動教育委員会が美留和小学校で行われました。美留和小学校の特色として、本学校は特認校として認められ、簡単に言うと学区を関係なしに通うことのできる学校となっています。授業参観をさせていただきましたが、弟子屈地区から数名通う児童を含め、小規模校ならではの授業が行われていました。



その後、PTAの方々との懇談会では、学校運営に大満足しているという声を聞かせていただき、多様性が求められる現代の学校の在り方である特認校の重要性を身に染みて感じました。最後には皆さんと共に給食懇談会が行われましたが、この日のメニューが『摩周和牛のカレーライス』というサプライズで美味しくいただきました。

ウシウマ

教育委員 吉田 一徳

鹿児島県立博物館で、一度見てみたかったのがこの「ウシウマ」です。

これは馬の1品種で、たがみや尾に毛が無いという特徴の馬ですが、現在ではこの血筋は途絶えてしまい、生きた姿を見ることができません。

この馬の由来は、戦国武将の島津義弘が朝鮮半島から持ち帰ったのが始まりとされているらしく、日置市美山地区の陶芸の元祖である陶工たちと一緒に日本に來たようです。

今回、博物館に行って初めてウシウマの来歴を知り、こんなところで日置市と繋がりがあったことが分かって、ますます鹿児島県及び日置市の歴史について興味が湧きました。



中学生が働く意義を学ぶ

教育委員 宮田 昇子

弟子屈中学校の2年生が10月18日、19日の2日間、町内事業所などで職場体験学習を行いました。労働の大切さや意義を学ぶため、各事業所などの協力の下、毎年行っています。

弟子屈町役場では4人の中学生が仕事を体験。19日には、老人福祉センターで行われた町の功労賞・文化奨励賞表彰式のお手伝いに臨みました。緊張した面持ちで、懸命に受付や表彰状授与の介添え、記念撮影準備などを行う中学生。各賞を受賞された皆さんへの敬意を抱くとともに、中学生の姿に感心させられました。



プロ野球日本シリーズを制し、38年ぶり2度目の日本一に輝いた阪神タイガース。歓喜の瞬間、岡田彰布監督とともに胴上げされた岩崎優投手が掲げていたのが背番号24のユニフォームで、その主は岩崎投手と同期入団した横田慎太郎さん。2014年、鹿児島実業高からドラフト2位で入団し、16年の開幕戦で1軍デビュー、強肩強打の大型外野手として活躍が期待されていましたが、17年に脳腫瘍が判明し、19年に引退。懸命に闘病を続けていましたが、今年の7月に28歳の若さで亡くなりました。横田さんは、本町の姉妹都市・日置市出身です。宙を舞うユニフォームに、チームメイトやファンから愛された人柄がうかがえるようでした。（宮田）

編集後記